

メンバー同士の交流が、明日からの 活動のエネルギーに!

Group Discussion



グループディスカッションに参加して



●佐々木 優さん
(宮城県)

同じ目標を持っているからこそ、メンバーとのディスカッションは本当に刺激的! 今まで参加したどんなセミナーより充実していました。

たとえば、あるメンバーの「提案の前にその人の生活環境を知って大切だね」という言葉。自分は口腔内だけに目がいきがちだったなあと気づいてハッとしました。次の日からさっそく実践しています。

活動する場や環境が違って、人々を健康にしたいという想いは同じ。活動を続ける勇気ももらいました。交流の機会があれば、また参加します。

グループディスカッションの様子は、次ページへ!

前号でお届けした、Goodbye Perioプロジェクトの記者発表会。

熱気あふれる雰囲気のまま、午後はメンバー同士の交流の時間となりました。

特に盛り上がったのは、40名のメンバーによるディスカッション。

テーマは「30代男性に、積極的に歯周病予防に取り組んでもらうには?」です。

この世代は、今のうちにケアを始めれば健康な歯肉に戻せる“歯肉炎”の人たち。

しかし同時に、仕事やプライベートが最も忙しい世代でもあります。

どんな言葉がピンとくるのか。どんなツールを使うと伝わりやすいのか。

明日からの活動につながるたくさんのアイデアが出ました!

Group Discussion

歯周病予防の大切さを 30代男性に伝えるとき、

どんな工夫を
してる？

“見えないものを見せる” ツールは必需品！

歯周病予防の提案は“目に見えない歯肉縁下をどう見せるか”がポイント。あるメンバーは写真を、あるメンバーは模型を使って提案していると紹介しました。「それいいね～」「これわかりやすい！」などの声が飛び交います。



アイデア2 男性には、 “数字”を見せると ピンとくる?!

盛り上がったのは男性への数字を使ったアプローチ。「フロスを使う前のPCRが、使った後では何%下がったかを伝えると効果的」というメンバーの経験談に納得！



アイデア3 “お子さんのために”の 切り口は効果大

「パパが細菌をコントロールすることがお子さんの健康を守ります」
親心を利用した提案には、多くのメンバーが共感。実際に変化があった男性の例がいくつも挙げられます。



ディスカッションの映像は、Goodbye Perioサイトで公開中！

自由な雰囲気なか、アイデアが飛び交う様子をぜひご覧ください。また、このディスカッションに刺激を受けた松本はるみさん（愛知県春日井市で活動中）が、東海地方でメンバーミーティングを企画！1月20日に開催されました。

- 「ぜひ私の地域でも企画したい」「参加したい」という方はこちらから↓
<http://perio.tuftclub.jp/event/event.html>

記者発表会を機に、歯科衛生士への注目度が高まっています

あなたもGoodbye Perioメンバーに！

メンバー数
1,689名
(2013年2月5日現在)

メンバー登録はこちらから↓
<http://perio.tuftclub.jp/>

メンバーの取り組みは、
facebook ファンページでもご紹介しています

Goodbye Perio で検索

歯周病罹患率80%を
歯科衛生士の私たちが
変えていく！

Goodbye
Perio
Project

● 歯周病予防についての提案の引き出しがさらに増えました！ ●

田中真喜先生（講演）



歯周病と全身疾患の関わりについて、多くの事例とスライドを使ってお話してくださいました。特に、歯周病の治療が進むにつれて高血圧が改善された患者さんの例は、田中先生が実際に診た患者さんであつて説得力があります。

今後多くの病気との関連性が明らかになりそうな歯周病。常にアンテナを張り、患者さんや一般の人に最新情報を伝えていく必要があると感じさせられました。

白井陽子さん（事例紹介）



歯周病に関心のない30代の友人に歯周病予防の大切さを伝え、

フロスの提案をしたメンバーの白井さん。その活動内容を詳しく紹介してくれました。

最も大きな成果は、その友人が白井さんの歯科医院にやってきたこと！ 私たちがきちんと伝えさえすれば、予防に関心を持ってもらえる。そのことを証明するこの事例は、他のメンバーにとって大きな励みとなりました。